

## 第4学年国語科 学習指導案

平成28年5月28日（金）第6校時

四万十市立具同小学校4年1組 児童数32名

授業者：四万十市立具同小学校 弘田 由佳

1 単元名 人物の変化をとらえよう

教材名 「走れ」（東京書籍4年上）

### 2 指導観

本単元で扱う内容は、学習指導要領には以下のように位置づけられている。

第3学年及び第4学年「C 読むこと」

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

本教材は、時間の経過に沿って物語が展開し、場面の移り変わりをとらえやすい教材である。また、中心となる人物の気持ちが心内語で表されている部分が多く、そのときどきの人物の気持ちがかみやすい。人物の気持ちの変化をとらえる学習に取り組む児童にとって、適した教材だと思われる。また、運動会を取り上げた題材は、児童にとって身近な内容であり、自分の体験とも関連付けて素直な感想を伝え合うことができる教材である。また、児童はこれから生きていくうえで書く機会も増えていく。気持ちの変化があるこの教材をまとめることで、まとめる力をつけ、総合などで使える力にできる教材である。

本単元では、中心人物の気持ちが変わる物語を併せて読み、「走れ」で学習したことを参考にしてほぼ毎時間の後半に、自分のリーフレットを作るという活動を設定した。本単元でねらう「中心人物に着目して、叙述を人物像や対人物との関わりを考え、中心人物の気持ちの変化を読む能力」の育成を目指す。

本学級の児童は、読書が好きな児童が多く、読書の時間を楽しみにしており、集中して読書をしている。しかし、自分の考えを文章で書くことや自分の考えを発表することに苦手意識を持っている児童も多くいる。児童は、3年10月「サーカスのライオン」で、人物の気持ちや変化に気をつけて読む学習を行い、4月単元「こわれた千の楽器」で、読み取った場面の様子や人物の気持ちが伝わるように音読発表に取り組んだ。前単元の「ヤドカリとイソギンチャク」では、めあてに対するまとめを自分の言葉で書き、書くことに慣れてきた。そこで、好きな読書を生かし、書く力をつけるためにもリーフレット作りを設定した。

第一次の単元の導入では、用意したリーフレットを見て、「走れ」の学習を通して「中心人物の気持ちの変化を読み取る学習をすること」を知る。その後、そのためにどんな学習をしたいのか話し合い、学習課題を設定し、学習の計画を児童と共にとる。

第二次では、「走れ」で学習したことを生かし、ほぼ毎時間に授業の後半で並行読書でのリーフレット作りに生かしていく。まず、学習登場人物の人柄について考え、はじめと終わりの変化を大まかに捉える。中心人物の変化に着目し、なぜ変わったのか、のぶよの立場から、けんじ、お母ちゃんに対

する気持ちや人物の関係を読んで行く。その際、個々の学習や班学習を効果的に用いることで意見交換を深め、人物の心情にせまっていく。本時では、中心人物であるのぶよの心情が分かる表現を探し、大きく変わったのはどこかをとらえさせたい。そして、中心人物に大きな影響を与えた対人物はだれか、変わったきっかけは何かを考えさせることで、なぜ変化したかを読み、そのことを自分の言葉で表現させたい。そして、中心人物の心情の変化について友だちと交流することで、対人物の気持ち等にもせまっていく。

第三次では、第二次で選んだお気に入りの本の中心人物の気持ちの変化をふまえ、中心人物が大きく変わった場面を紹介する。登場人物の人柄や初めと終わりなどで中心人物がどのように変わったのか、それはなぜなのかを説明する。特に、中心人物の気持ちの変化について自分の読みを生かし、そのことをもとに変化のわけを考え、自分の発表に繋げるようにしたい。

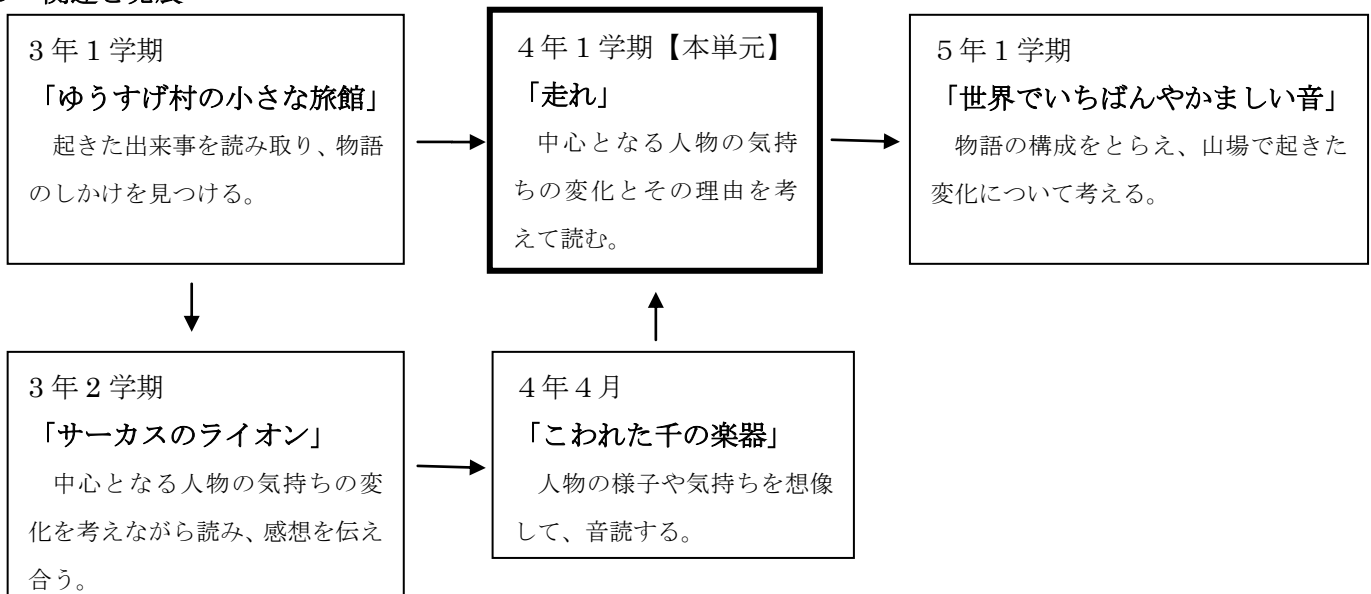
### 3 単元の目標

- ・中心となる人物の気持ちの変化とその理由について考えて読み、感想を伝え合うことができる。

### 4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・物語の読むことに興味を持ち、中心となる人物の気持ちの変化を考えようとしている。
読む能力	・本文中の言葉をもとに、中心となる人物の気持ちの変化とその理由を想像して読んでいる。C(1)ウ ・人物の気持ちの変化やその理由について話し合い、一人一人の感じ方の違いがあることに気づいている。C(1)オ
言語についての 知識・理解・技能	・登場人物の性格を表すために語彙を増やしている。伝国(1)イ(オ)

### 5 関連と発展



6 単元の計画 (全10時間)

学習活動

児童の意識の流れ

単元の主な評価規準

1次 「リーフレット」について知り、学習の流れをつかもう。

2時間

- ① 本の読み聞かせとリーフレットのモデルを見てお気に入りの本で、主人公に大きな変化がある場面を紹介しようという学習のめあてを持つ。「走れ」の範読を聞く。並行読書をする。

はじめと終わりで中心人物の気持ちが違うな。

自分もリーフレットを作ってみたいな

要約の力が使えるな

- ・リーフレットに興味をもち、並行読書や発表会などのこれからの学習に意欲的に取り組もうとしている。

(関心・意欲・態度)

- ② 学習の計画を立てる。

並行読書

2次 物語文「走れ」を学習し、リーフレット作りに役立てよう。

6時間

- ③ 登場人物・中心人物・対人物を考え、それぞれの人物の人柄とあらすじを考える。(ワークシート)  
○自分の選んだ本で

中心人物はのぶよなんだな

- ④ 登場人物の前と後ろの心の変化をおさえ、全体の内容をつかむ。(ワークシート)  
○自分の選んだ本で

中心人物の気持ちが変わったのはなぜだろう

- ⑤⑥ 中心人物の心がなぜ変わったか、どこで変わったのかを読む。(ワークシート)【本時】5/10  
○自分で選んだ本で

自分が選んだ本のリーフレットでも考えてみよう

- ⑦⑧ 自分の選んだ本でまとめる。

- ・登場人物の性格を表すために語彙を増やしている。伝国(1)イ(オ)
- ・文章の要点に気をつけながら要約している。C(1)エ
- ・本文中の言葉をもとに、中心となる人物の気持ちの変化とその理由を想像して読んでいる。C(1)ウ
- ・人物の気持ちの変化やその理由について伝え合い、それぞれの感じ方の違いに気づいている。C(1)オ
- ・中心人物の気持ちの変化の理由を例をあげながら書いている。

B(1)ウ

3次 自分が読んだ本のリーフレットを紹介しよう。

2時間

- ⑨ 自分の選んだ本で発表練習をする。
- ⑩ リーフレットを紹介する。

心の変化のある本を友だちに紹介したいな

- ・友達に伝わるように理由や事例をあげながら、筋道を立て、適切な言葉で話している。A(1)イ

【付けたい力】

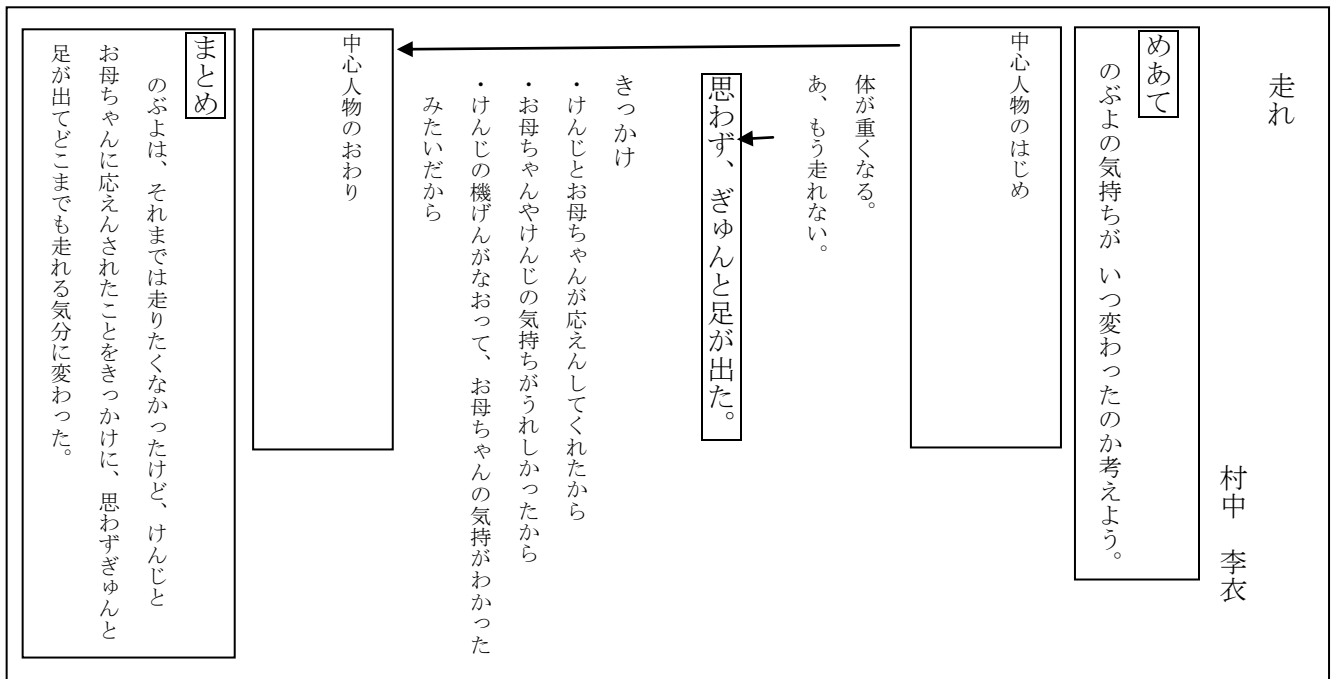
- ・中心人物に着目して、叙述を基に人物像や対人物とのかかわりを考え、中心人物の気持ちの変化を読む力。

7 本時の指導 (5/9)

- (1) 目標 行動や会話などの叙述をもとに、中心人物の気持ちがどこでどのように変わったのか理由を考えながら読むことができる。
- (2) 準備物 拡大ワークシート 挿絵 児童用ワークシート
- (3) 展開

	学習活動【主な発問(★)】	指導上の留意点(○)と評価
つかむ 10分	1 前時までを振り返る。 2 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             のぶよの気持ちが いつ変わったのか考えよう。           </div>	○はじめとおわりの中心人物の気持ちを確認する。
深め 広げ 25分	2 課題を解決する。 (1) のぶよの気持ちがどのあたりで変わったのか考える。 ★のぶよの気持ちが大きく変化したのは、どの場面ですか。 ・三の場面 全員で音読する (2) のぶよの気持ちが大きく変化したところを読み取る。 ★のぶよの気持ちが変わったのはどの部分ですか。 ・「思わず、ぎゅんと足が出た。」のところ。それまでは「体が重くなる」と書いてあるから。(あ、もう走れない。)と書いてあるから。 <b>【個人】【ペア】【全体】</b> ★のぶよの気持ちはどうして大きく変わっていったのだろうか。 ・ふたりの声が聞こえたから。	○のぶよの気持ちが大きく変化したところを考えながら、音読させたい。 ○気持ちが変わったきっかけとなる部分に線を引くように声をかける。 ○のぶよの気持ちが大きく変わったところを、叙述に即した理由をつけて話すように助言する。
まとめ つなげる 10分	3 課題をまとめ、交流する。 ・のぶよの気持ちが変わった場所やきっかけを自分の言葉でまとめる。 4 次時の活動を確認する。	○みんなで考え合ったことや板書を参考にノートに自分の言葉でまとめるように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             読 中心人物の行動や会話などの叙述をもとに、中心人物気持ちの変化を読み取っている。              (ワークシート、発言、ノート)           </div>

(3) 板書計画



<言語活動のモデル 「中心人物の気持ちの変化のある本を紹介するためのリーフレット」>

